

S1R72U01

Data Sheet

本資料のご使用につきましては、次の点にご留意願います。
本資料の内容については、予告無く変更することがあります。

1. 本資料の一部、または全部を弊社に無断で転載、または、複製など他の目的に使用することは堅くお断りいたします。
2. 本資料に掲載される応用回路、プログラム、使用方法等はあくまでも参考情報であり、これら起因する第三者の知的財産権およびその他の権利侵害あるいは損害の発生に対し、弊社はいかなる保証を行うものではありません。また、本資料によって第三者または弊社の知的財産権およびその他の権利の実施権の許諾を行うものではありません。
3. 特性値の数値の大小は、数直線上の大小関係で表しています。
4. 本資料に掲載されている製品のうち「外国為替及び外国貿易法」に定める戦略物資に該当するものについては、輸出する場合、同法に基づく輸出許可が必要です。
5. 本資料に掲載されている製品は、生命維持装置その他、きわめて高い信頼性が要求される用途を前提としていません。よって、弊社は本（当該）製品をこれらの用途に用いた場合のいかなる責任についても負いかねます。
6. 本資料に掲載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

目 次

1. 概要	1
2. 特長	2
3. ブロック図	3
4. 機能説明	4
4.1 Serial I/F (UART)	4
4.2 USB Host SIE	4
4.3 USB Device SIE	4
4.4 Transceiver Macro	4
4.5 FIFO	4
4.6 Bridge Sequencer	4
4.7 SIO	4
4.8 debug i/f	5
4.9 1.8V Regulator	5
4.10 3.3V Regulator	5
4.11 VBUS SW	5
4.12 test circuit	5
5. 端子配置図	6
6. 端子機能説明	7
7. コマンド	11
8. 電気的特性	12
8.1 絶対最大定格	12
8.2 推奨動作条件	12
8.3 DC特性	13
8.3.1 消費電流	13
8.3.2 入力特性	14
8.3.3 出力特性	15
8.3.4 端子容量	17
8.3.5 VBUS供給機能特性	18
8.3.6 Fail-Safeセル	19
8.4 AC特性	20
8.4.1 電源投入／切断タイミング	20
8.4.2 RESETタイミング	21
8.4.3 クロックタイミング	21
8.4.4 USB I/Fタイミング	21

8.4.5	Serial I/F (Main CPU) タイミング (S1R72U01 はSPIをサポートしていません)	22
8.4.6	Serial I/F (History Display) タイミング	22
9.	接続例	23
10.	外形寸法図	24
10.1	QFP12-48	24
10.2	QFN7-48	25
11.	製品型番	26
	改訂履歴表	27

1. 概要

S1R72U01 は USB2.0 FS/LS に対応したシリアル (UART) –USB2.0 Host/Device ブリッジ LSI です。Main CPU は、本 LSI の USB 機能を、簡易化されたコマンドにより制御できます。USB ドライバは必要ありません。サポートする USB クラスは Human Interface Device Class です。

2. 特長

2. 特長

■ Easy-to-use & Easy-to-connect（シリアル接続）

簡易化されたコマンドで USB を制御可能

Main CPU は、本 LSI の USB 機能を、簡易化されたコマンドを用いて制御できます。Main CPU は USB ドライバを実装する必要はありません。

UART（2 線調歩同期）のシリアルインターフェイスで様々な CPU と容易に接続できます。

■ レギュレータ内蔵

USB 用レギュレータ

コア電圧用レギュレータ

USB 用 3.3V を生成するレギュレータ（3.3～5.0V の入力範囲）および、内部コア電圧 1.8V を生成するレギュレータ（3.3～5.0V の入力範囲）を内蔵します。したがって、3.3V 以上の電圧であれば、単一電源での動作が可能です。

■ VBUS 供給機能内蔵

外付け VBUS パワーSW 不要

USB ホスト動作時の VBUS 供給機能を内蔵します。従来の USB ホストコントローラで必要とされている VBUS パワーSW を外付けする必要がありません。内蔵の VBUS 供給機能では電流容量が不足する場合に備え、外付け VBUS パワーSW を制御するためのインターフェイスを設けております。バスパワーデバイスのサポート等で電流能力が必要とされる場合は、VBUS パワーSW を外付けしてください。

■ 製品（システム）開発サポート機能

履歴表示

シリアルインターフェイス（調歩同期式）を使用して、本 LSI 内部の実行履歴を表示します。この機能により、製品（システム）開発をサポートします。

3. ブロック図

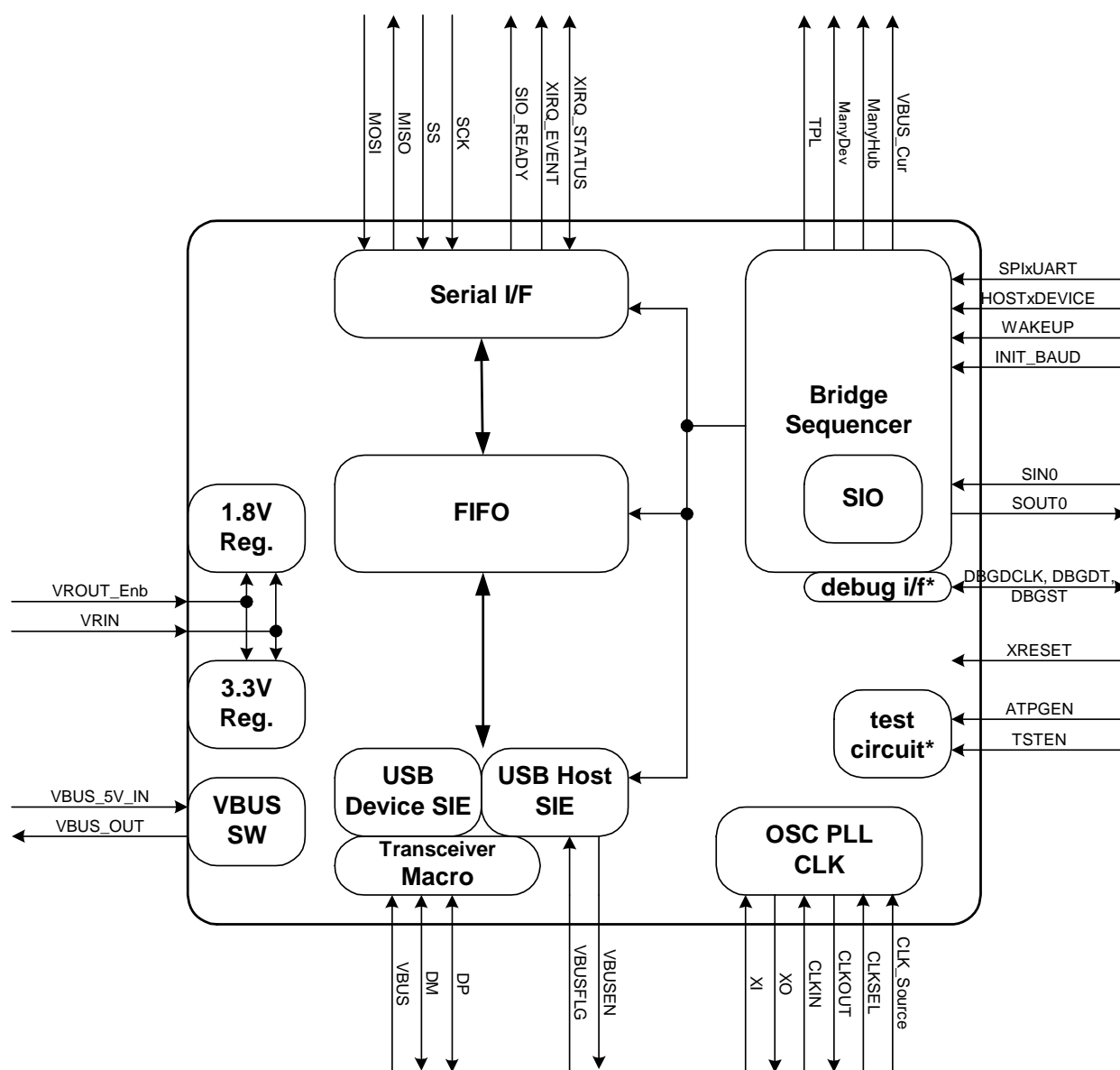


図 3.1 ブロック図

4. 機能説明

4. 機能説明

4.1 Serial I/F (UART)

Main CPU との接続は UART (2 線調歩同期) です。モード設定端子 SPIxUART を Low にしてください。
インターフェイス電圧 (CVDD) は 1.8~5.0V のワイドレンジで使用可能です。

- UART 接続 (調歩同期シリアル I/F)

初期ボーレート : 300/9600bps (モード設定端子 INIT_BAUD にて設定)

転送ボーレート : 設定可 (~3Mbps)

lsb ファースト

8bit Data

1/2 stop bit

Odd/Even/No Parity

4.2 USB Host SIE

USB2.0 (Universal Serial Bus Specification Revision 2.0) 規格に準拠した USB ホスト機能です。FS (12Mbps)、LS (1.5Mbps) のスピードモードをサポートします。USB の制御は、LSI 内部の Bridge Sequencer ブロックが行います。サポートする USB のクラスは Human Interface Device Class です。

4.3 USB Device SIE

USB2.0 (Universal Serial Bus Specification Revision 2.0) 規格に準拠した USB デバイス機能です。FS (12Mbps)、LS (1.5Mbps) のスピードモードをサポートします。USB の制御は、LSI 内部の Bridge Sequencer ブロックが行います。サポートする USB のクラスは Human Interface Device Class です。

4.4 Transceiver Macro

USB のアナログマクロブロックです。ホスト/デバイス共通で動作します。

4.5 FIFO

シリアル-USB 間でデータのバッファリングを行うための FIFO ブロックです。

4.6 Bridge Sequencer

シリアルからのコマンドに応じて USB の制御を行います。

4.7 SIO

本ブロックは製品 (システム) 開発サポート機能の履歴表示およびアナログテストに使用します。

4.8 debug i/f

内蔵 Bridge Sequencer のデバッグ用端子です。ユーザーは使用しません。

4.9 1.8V Regulator

内部コア用 1.8V 電圧を生成するためのレギュレータです。入力電圧は 3.3～5.0V の範囲で可能です。

4.10 3.3V Regulator

USB 用 3.3V 電圧を生成するためのレギュレータです。入力電圧は 3.3～5.0V の範囲で可能です。

4.11 VBUS SW

LSI 内蔵の VBUS 出力ブロックです。

4.12 test circuit

IC テスト用の回路です。ユーザーは使用しません。

5. 端子配置図

図 5.1 パッケージ端子配置図 (QFP/QFN 共通)

6. 端子機能説明

GENERAL (CVDD 系統)					
BGA	QFP	名称	I/O	RESET	端子説明
-	29	XRESET	IN	-	リセット信号
-	39	CLKSEL	IN	-	クロック周波数選択 クロックソース (CLKIN 端子または XI 端子) から入力する周波数を設定してください。 1 : 24MHz 0 : 12MHz
-	41	CLK_Source	IN	-	クロックソース選択 クロックソースを CLKIN 端子と XI 端子のどちらから入力するかを設定してください。 1 : CLKIN 0 : XI
-	40	CLKIN	IN	-	クロック入力 12MHz/24MHz XI 端子からクロックを入力する場合は、Low 固定してください。
-	42	CLKOUT	OUT	Low	クロック出力 出力するクロックの切り替え方法は『S1R72U01 テクニカルマニュアル』を参照してください。 48MHz/24MHz/12MHz/6MHz/3MHz/停止

OSC (LVDD 系統)					
BGA	QFP	名称	I/O	RESET	端子説明
-	10	XI	IN	-	内部発振回路用入力 12MHz/24MHz CLKIN 端子からクロックを入力する場合は、Low 固定してください。
-	11	XO	OUT	-	内部発振回路用出力 CLKIN 端子からクロックを入力する場合は、Open にしてください。

TEST (LVDD, CVDD 系統)					
BGA	QFP	名称	I/O	RESET	端子説明
-	44	TSTEN	IN(PD)	-	テスト端子 (※1) ユーザー未使用
-	37	ATPGEN	IN(PD)	-	テスト端子 (※1) ユーザー未使用

PD: Pull Down I/O 使用

※1 LSI 内部で Pull Down されていますが、基板上での Low 固定を推奨します。

USB (UVDD3 系統)					
BGA	QFP	名称	I/O	RESET	端子説明
-	9	VBUS	IN	-	VBUS 入力端子 USB デバイスとして本 LSI を使用する場合は VBUS 入力端子です。USB ホストとして使用する場合は Open にしてください。
-	8	DP	BI	Hi-Z	USB データライン Data+
-	7	DM	BI	Hi-Z	USB データライン Data-

6. 端子機能説明

VBUS (UVDD3 系統)					
BGA	QFP	名称	I/O	RESET	端子説明
-	12	VBUSFLG	IN(PU)	-	USB パワースイッチ・フォールト検出信号 1 : 正常 0 : 異常 CMOS シュミット入力 USB パワースイッチを外付けする場合にご使用ください。使用しない場合は Open にしてください。
-	13	VBUSEN	OUT	Low	USB パワースイッチ制御信号 USB パワースイッチを外付けする場合にご使用ください。使用しない場合は Open にしてください。

PU: Pull Up I/O 使用

Serial I/F (CVDD 系統) : Main CPU					
BGA	QFP	名称	I/O	RESET	端子説明
-	30	MISO	Tri	High	シリアルデータ出力 (SS 端子を High にすると Hi-z 出力になります)
-	28	MOSI	IN	-	シリアルデータ入力
-	31	SS	IN	-	スレーブセレクト (MISO 端子の出力制御に使用できます。 Hi-z 出力が不要の場合は Low 固定してください)
-	33	SCK	IN	-	シリアルクロック (未使用 : Low 固定してください)
-	25	SIO_READY	OUT	Low	通信開始可能通知端子 この端子の使用方法的詳細は『S1R72U01 テクニカル マニュアル』を参照ください。 未使用の場合は Open にしてください。
-	27	XIRQ_STATUS	OUT	High	ステータス通知 この端子の使用方法的詳細は『S1R72U01 テクニカル マニュアル』を参照ください。 未使用の場合は Open にしてください。
-	26	XIRQ_EVENT	OUT	High	イベントリード要求 この端子の使用方法的詳細は『S1R72U01 テクニカル マニュアル』を参照ください。 未使用の場合は Open にしてください。

Serial I/F (UVDD3 系統) : History Display					
BGA	QFP	名称	I/O	RESET	端子説明
-	15	SIN0	IN	-	調歩同期式シリアルデータイン 履歴表示用のシリアル端子です。履歴表示に関する詳細は『S1R72U01 開発サポートマニュアル』を参照ください。 未使用の場合は High にしてください。
-	14	SOUT0	OUT	High	調歩同期式シリアルデータアウト 履歴表示用のシリアル端子です。履歴表示に関する詳細は『S1R72U01 開発サポートマニュアル』を参照ください。 未使用の場合は Open にしてください。

DEBUG I/F (UVDD3 系統)					
BGA	QFP	名称	I/O	RESET	端子説明
-	16	DBGDCLK	OUT	High	未使用 (※1)
-	18	DBGDT	BI(PU)	-	未使用 (※2)
-	17	DBGST	OUT	Low	未使用 (※1)

PU: Pull Up I/O 使用

※1 Open にしてください。

※2 LSI 内部で Pull up されていますが、10kΩ程度の外付け Pull Up を推奨します。

GPI (CVDD 系統)					
BGA	QFP	名称	I/O	RESET	端子説明
-	34	SPIxUART	IN	-	設定端子 (Low 固定してください) 0 : UART モード
-	35	HOSTxDEVICE	IN	-	設定端子 1 : HOST モード 0 : DEVICE モード 設定切り替え時には本 LSI にリセットがかかります。
-	36	WAKEUP	IN	-	ウェイクアップ端子 SLEEP 状態からの復帰に使用します。 立ち上がりエッジでウェイクアップトリガがかかります。
-	38	INIT_BAUD	IN	-	初期ボーレート設定端子 1 : 9600bps 0 : 300bps シリアルポート設定により UART のボーレートは 300~3Mbps まで設定できます。 シリアルポート設定方法の詳細は『S1R72U01 テクニ カルマニュアル』を参照ください。

GPO (CVDD 系統)					
BGA	QFP	名称	I/O	RESET	端子説明
-	24	TPL	OUT	Low	Unsupported Device 1 : エラー 0 : - USB ログ認証に使用します。未使用の場合は Open にしてください。
-	23	ManyDev	OUT	Low	Too Many Devices 1 : エラー 0 : - USB ログ認証に使用します。未使用の場合は Open にしてください。
-	22	ManyHub	OUT	Low	Too Many Hubs 1 : エラー 0 : - USB ログ認証に使用します。未使用の場合は Open にしてください。
-	21	VBUS_Cur	OUT	Low	VBUS Over Current 1 : エラー 0 : - USB ログ認証に使用します。未使用の場合は Open にしてください。

6. 端子機能説明

Regulator (VRIN 系統)					
BGA	QFP	名称	I/O	RESET	端子説明
-	4, 47	VRIN	Power	-	レギュレータ入力 それぞれの端子に $C_{in}=1.0\mu F$ を接続してください。 <u>レギュレータ未使用時は必ずオープン</u> にしてください。
-	45	VROUT_Enb	IN	-	Regulator イネーブル レギュレータ使用時には VRIN と同レベルに固定してください。 <u>レギュレータ未使用時には必ずLow固定</u> してください。

VBUS SW (VBUS_5V_IN 系統)					
BGA	QFP	名称	I/O	RESET	端子説明
-	2	VBUS_5V_IN	Power	-	VBUS 生成入力 内蔵 VBUS 供給機能用、電圧入力端子です。 同機能を未使用の場合も電源 (8.3.5 の VSWIN) を与えてください。
-	1	VBUS_OUT	Power	-	VBUS 出力 内蔵 VBUS 供給機能用、VBUS 出力端子です。 同機能を未使用の場合は Open にしてください。

POWER				
BGA	QFP	名称	電圧	端子説明
-	5	UVDD3	3.3V	USB 用電源 レギュレータ使用時: $C_{out}=1.0\mu F$ を接続してください。 レギュレータ未使用時: 左記電圧を印加してください。
-	46	LVDD	1.8V	内部電源, TEST 電源, OSC 電源 レギュレータ使用時: $C_{out}=1.0\mu F$ を接続してください。 レギュレータ未使用時: 左記電圧を印加してください。
-	32	CVDD	1.8~5.0V	Main CPU I/F 用電源
-	3, 6, 20, 43, 48	VSS	0V	GND

7. コマンド

MainCPU との通信はコマンドで行います。コマンドの詳細は『S1R72U01 テクニカルマニュアル』をご参照ください。

8. 電氣的特性

8. 電氣的特性

8.1 絶対最大定格

項目	記号	定格値	単位
電源電圧	CVDD VRIN (※1)	-0.3~7.0	V
	UVDD3	-0.3~4.0	V
	LVDD (※2)	-0.3~2.5	V
入力電圧	VI (※3)	-0.3~CVDD+0.5 -0.3~UVDD3+0.5 -0.3~LVDD+0.5	V
	VBUS_5V_IN	-0.3~7.0	V
出力電圧	VO (※3)	-0.3~CVDD+0.5 -0.3~UVDD3+0.5 -0.3~LVDD+0.5	V
	VBUS_OUT	VBUS_5V_IN+0.3	V
出力電流／端子	I _{out}	±10	mA
保存温度	T _{stg}	-65~150	°C

※1 VRIN \geq UVDD3、VRIN \geq LVDD

※2 CVDD、UVDD3 \geq LVDD

※3 各電源の印加電圧

8.2 推奨動作条件

項目	記号	MIN	TYP	MAX	単位
電源電圧	CVDD	1.65	1.80~5.00	5.50	V
	VRIN	3.00	3.30~5.00	5.50	V
	UVDD3	3.00	3.30	3.60	V
	LVDD	1.65	1.80	1.95	V
入力電圧	VI (※)	-0.3	-	CVDD+0.3 UVDD3+0.3 LVDD+0.3	V
周囲温度	T _a	-40	25	85	°C

※各端子の電源電圧

[電源投入順序の注意事項]

内蔵レギュレータを使用せずに外部から電源を供給する場合、電源印加タイミングにご注意ください。詳細は「8.4.1 電源投入／切断タイミング」を参照ください。

8.3 DC特性

8.3.1 消費電流

項目	記号	条件	MIN	TYP	MAX	単位
電源供給電流 (※1)						
電源電流	IDDH0	CVDD = 5.5V	-	5	-	mA
	IDDH1	UVDD3 = 3.6V	-	5 ※2	-	mA
	IDDL	LVDD = 1.95V	-	25 ※2	-	mA
	IDDR	VRIN = 5.5V	-	30 ※3	-	mA
電源供給電流 (静止電流) (※4)						
電源電流	IDDS	各電源の MAX 条件 電源もしくは GND に固定	-	50	-	μA
入力リーク						
入力リーク電流	IL	各電源の MAX 条件	-5	-	5	μA

※1 推奨動作条件 (Ta = 25°C) による。弊社評価ボード環境における動作時電流です。

※2 内蔵レギュレータ未使用、外部電源印加時の弊社評価ボード環境における動作時電流です。

※3 内蔵レギュレータ使用時の弊社評価ボード環境における動作時電流です。

※4 Ta=25°C、レギュレータ使用時の静止電流です。

8. 電氣的特性

8.3.2 入力特性

項目	記号	条件	MIN	TYP	MAX	単位
入力特性						
端子：		LVDD 系統の端子				
“H”レベル入力電圧	VIH1	LVDD = 1.95V	1.27	-	-	V
“L”レベル入力電圧	VIL1	LVDD = 1.65V	-	-	0.57	V
入力特性（シュミット）						
端子：		CVDD, UVDD3 系統の端子				
“H”レベルトリガ電圧	VT1+	CVDD = 5.5V CVDD = 3.6V CVDD = 1.95V UVDD3 = 3.6V	-	-	4.00 2.52 1.36 2.52	V
“L”レベルトリガ電圧	VT1-	CVDD = 4.5V CVDD = 3.0V CVDD = 1.65V UVDD3 = 3.0V	0.80 0.75 0.42 0.75	-	-	V
ヒステリシス電圧	ΔV1	CVDD = 4.5V CVDD = 3.0V CVDD = 1.65V UVDD3 = 3.0V	0.30 0.30 0.17 0.30	-	-	V
シュミット入力特性						
(USB:FS)		端子： DP, DM				
“H”レベルトリガ電圧	VTU+	UVDD3 = 3.6V	-	-	2.0	V
“L”レベルトリガ電圧	VTU-	UVDD3 = 3.0V	0.8	-	-	V
入力特性 (USB:FS 差動入力)						
端子：		DP, DM のペア				
差動入力の感度	VDSU	UVDD3 = 3.0V 差動入力電圧 0.8V~2.5V	0.2	-	-	V
入力特性						
端子：		VBUSFLG, DBGDT				
プルアップ抵抗	RPLU	VI = 0V (UVDD3 = 3.0V)	52	160	384	kΩ
入力特性						
端子：		ATPGEN				
プルダウン抵抗	RPLD	VI = CVDD (CVDD = 4.5V)	32	100	240	kΩ
		VI = CVDD (CVDD = 3.0V)	52	160	384	
		VI = CVDD (CVDD = 1.65V)	200	600	1440	
入力特性						
端子：		TSTEN				
プルダウン抵抗	RPLDL	VI = LVDD (LVDD=1.65V)	40	120	288	kΩ
入力特性						
端子名：		VBUS				
プルダウン抵抗	RPLDB	VI = 5.0V	100	125	165	kΩ

8.3.3 出力特性

(V_{SS}=0V)

項目	記号	条件	MIN	TYP	MAX	単位
出力特性	端子 :	SIO_READY, XIRQ_EVENT, XIRQ_STATUS, TPL, ManyDev, ManyHUB, VBUS_Cur, VBUSEN				
“H”レベル出力電圧	VOH1	CVDD = 4.5V (IOH = -2.0mA) CVDD = 3.0V (IOH = -1.4mA) CVDD = 1.65V (IOH = -0.6mA) UVDD3 = 3.0V (IOH = -1.4mA)	CVDD - 0.4 CVDD - 0.4 CVDD - 0.4 UVDD3 - 0.4	-	-	V
“L”レベル出力電圧	VOL1	CVDD = 4.5V (IOH = 2.0mA) CVDD = 3.0V (IOH = 1.4mA) CVDD = 1.65V (IOH = 0.6mA) UVDD3 = 3.0V (IOH = 1.4mA)	-	-	0.4 0.4 0.4 0.4	V
出力特性	端子 :	MISO, SOUT0, CLKOUT				
“H”レベル出力電圧	VOH2	CVDD = 4.5V (IOH = -4.0mA) CVDD = 3.0V (IOH = -2.8mA) CVDD = 1.65V (IOH = -1.2mA) UVDD3 = 3.0V (IOH = -2.8mA)	CVDD - 0.4 CVDD - 0.4 CVDD - 0.4 UVDD3 - 0.4	-	-	V
“L”レベル出力電圧	VOL2	CVDD = 4.5V (IOH = 4.0mA) CVDD = 3.0V (IOH = 2.8mA) CVDD = 1.65V (IOH = 1.2mA) UVDD3 = 3.0V (IOH = 2.8mA)	-	-	0.4 0.4 0.4 0.4	V
出力特性 (USB:FS)	端子 :	DP, DM				
“H”レベル出力電圧	VOHUF	UVDD3 = 3.0V	2.8	-	-	V
“L”レベル出力電圧	VOLUF	UVDD3 = 3.6V	-	-	0.3	V
出力特性	端子 :	CVDD 系統の端子の端子				
OFF-STATE リーク電流	IOZ	CVDD = 5.5V VOH = CVDD VOL = VSS	-5	-	5	μA

8. 電気的特性

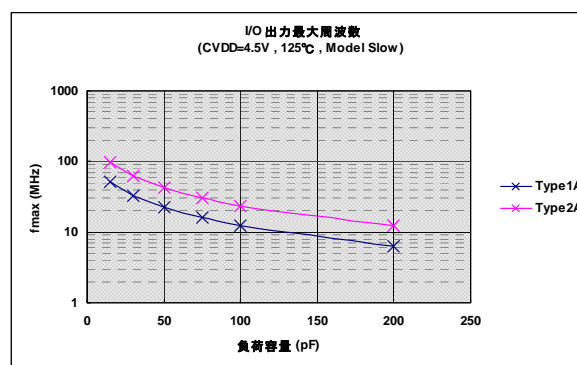
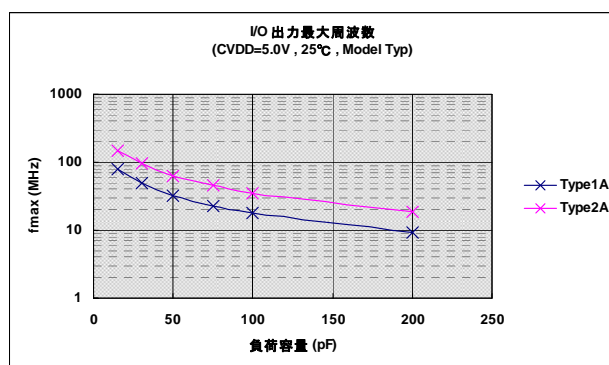
○Fmax-Cl

<出力バッファ分類>

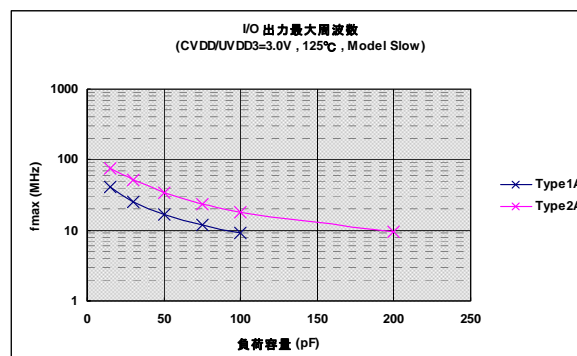
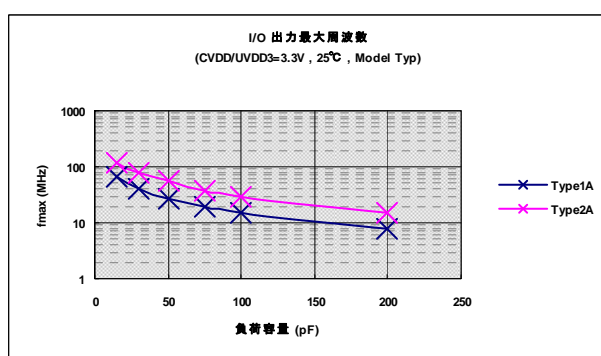
Type1A: SIO_READY, XIRQ_EVENT, XIRQ_STATUS, TPL, ManyDev, ManyHUB, VBUS_Cur, VBUSEN

Type2A: MISO, SOUT0, CLKOUT

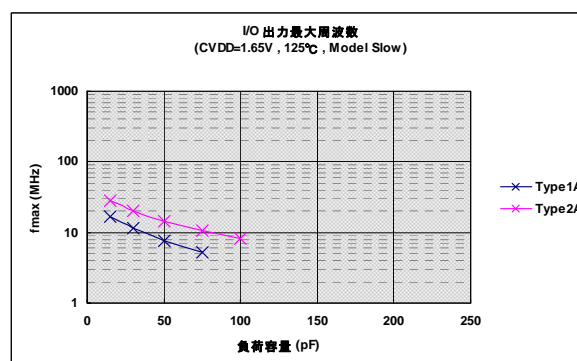
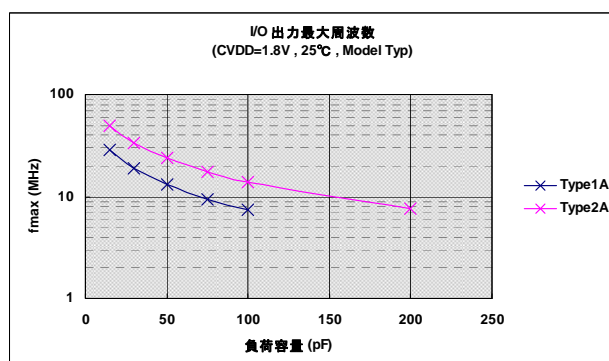
■IO 電圧 5.0V 使用時>



■IO 電圧 3.3V 使用時



■IO 電圧 1.8V 使用時



8.3.4 端子容量

項目	記号	条件	MIN	TYP	MAX	単位
端子容量	端子名 : 全入力端子					
入力端子容量	CI	f = 1MHz	-	-	8	pF
端子容量	端子名 : 全出力端子					
出力端子容量	CO	f = 1MHz	-	-	8	pF
端子容量	端子名 : DP, DM を除く入出力端子					
入出力端子容量	CB	f = 1MHz	-	-	8	pF
端子容量	端子名 : DP, DM					
入出力端子容量 (USB)	CBU	f = 1MHz	-	-	15	pF

8. 電気的特性

8.3.5 VBUS供給機能特性

項目	記号	条件	MIN	TYP	MAX	単位
入力電圧	VSWIN		3.0	5.0	5.5	V
オン抵抗	RSWON	VBUS_5V_IN = 5.0V VBUS_5V_IN = 3.0V	-	2.4 3.5	4.0	Ω
オフリーク電流	ISWOFF	VBUS_5V_IN = 5.0V VBUS_5V_IN = 3.0V	-	10 10	100 100	nA
過電流検出	ISWLMT	VBUS_5V_IN = 5.0V VBUS_5V_IN = 3.0V	21	26 17	35	mA
過電流応答時間	TSWOFF	過電流状態->VBUS OFF	300			μ s

8.3.6 Fail-Safeセル

本 LSI の一部の端子には Fail-Safe セルを採用しています。Fail-Safe セルの特長は以下の通りです。

- 入力端子、または入出力端子の入力状態においては、電源が印加された状態で、電源電圧以上の信号が入力されても、入力リーク電流は発生しません。（ただし、プルアップ抵抗付きの端子は 30uA 程度のリークが発生します。）
- 電源が Cut-off された状態で、外部から入力信号が印加されても、入力リーク電流は発生しません。

動作電圧以上の電圧レベルの信号を受けることができますが、Fail-Safe セルに印加可能な信号電圧は、絶対最大定格を超えることはできませんのでご注意ください。

<Fail-Safe 対象端子>

MISO, MOSI, SCK, SS, SIO_READY, XIRQ_EVENT, XIRQ_STATUS, SPIxUART, HOSTxDEVICE, WAKEUP, INIT_BAUD, TPL, ManyDev, ManyHUB, VBUS_Cur, SIN0, SOUT0, VBUSFLG, VBUSEN, CLKOUT, CLKIN, CLK_Source, CLKSEL, DBGDCCLK, DBGDT, DBGST, XRESET, ATPGEN

8. 電氣的特性

8.4 AC特性

8.4.1 電源投入／切断タイミング

A. 電源投入／切断タイミング(LVDD⇒HVDD／HVDD⇒LVDDの場合:推奨条件)

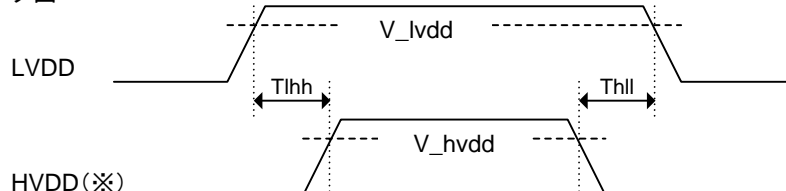
タイミングパラメータ

項目	記号	min	typ	max	単位
HVDD電源投入タイミング	Tlhh	0	-	10	sec
HVDD切断タイミング	Thll	0	-	10	sec

電圧パラメータ

項目	記号	電圧条件		単位
		投入時	遮断時	
LVDD起点電圧	V_lvdd	LVDD_min	LVDD_min	V
HVDD起点電圧	V_hvdd	HVDD_min	HVDD_min	V

タイミング図



B. 電源投入・切断タイミング(HVDD⇒LVDD／LVDD⇒HVDDの場合)

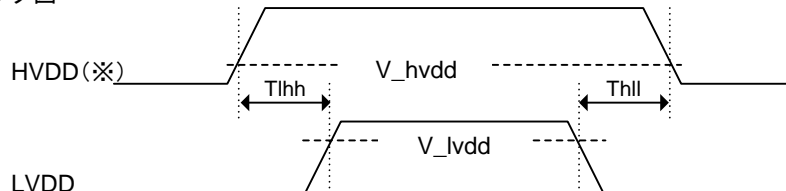
タイミングパラメータ

項目	記号	min	typ	max	単位
LVDD電源投入タイミング	Tlhh	0	-	1	sec
LVDD切断タイミング	Thll	0	-	1	sec

電圧パラメータ

項目	記号	電圧条件		単位
		投入時	遮断時	
LVDD起点電圧	V_lvdd	LVDD_min	LVDD_min	V
HVDD起点電圧	V_hvdd	0.1	0.1	V

タイミング図

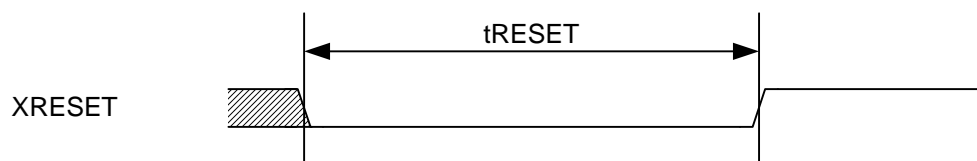


※HVDDとはUSB用のUVDD3及びインタフェース用のCVDDを示します。

※電源投入／切断ともにLVDD⇒HVDDのタイミングの場合、投入はA.、切断はB.を参照ください。

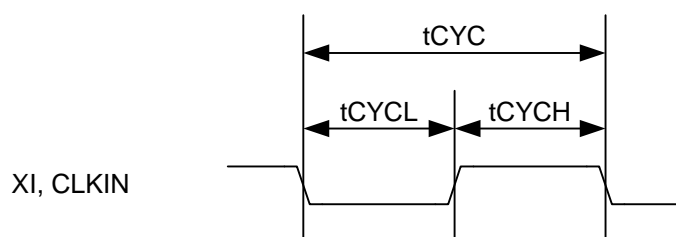
同様に、電源投入／切断ともにHVDD⇒LVDDのタイミングの場合、投入はB.、切断はA.を参照ください。

8.4.2 RESETタイミング



記号	説明	min	typ	max	単位
tRESET	リセットパルス幅	40	-	-	ns

8.4.3 クロックタイミング



記号	説明	min	typ	max	単位
tCYC	クロックサイクル (CLKSEL = "L")	-	12.000	-	MHz
tCYC	クロックサイクル (CLKSEL = "H")	-	24.000	-	MHz
tCYCL tCYCH	クロックデューティ	45	50	55	%

※USB 規格に要求される精度を満足できるよう、クロックソースを選定すること。FS: 2,500ppm LS: 15,000ppm

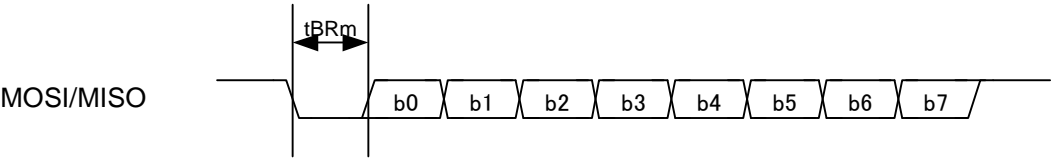
8.4.4 USB I/Fタイミング

USB2.0 『Universal Serial Bus Specification Revision 2.0』 規格に準拠します。

8. 電気的特性

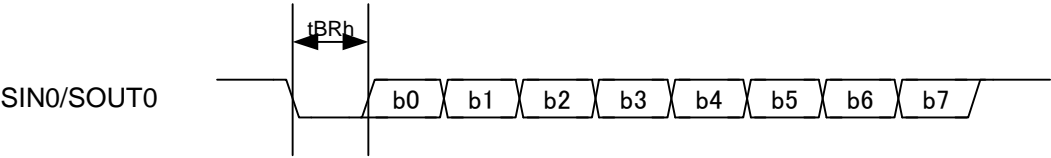
8.4.5 Serial I/F (Main CPU) タイミング (S1R72U01 はSPIをサポートしていません)

UART動作時



記号	説明	min	typ	max	単位
tBRm	ボーレート	300	-	3M	bps

8.4.6 Serial I/F (History Display) タイミング



記号	説明	min	typ	max	単位
tBRh	ボーレート	-	38400	-	bps

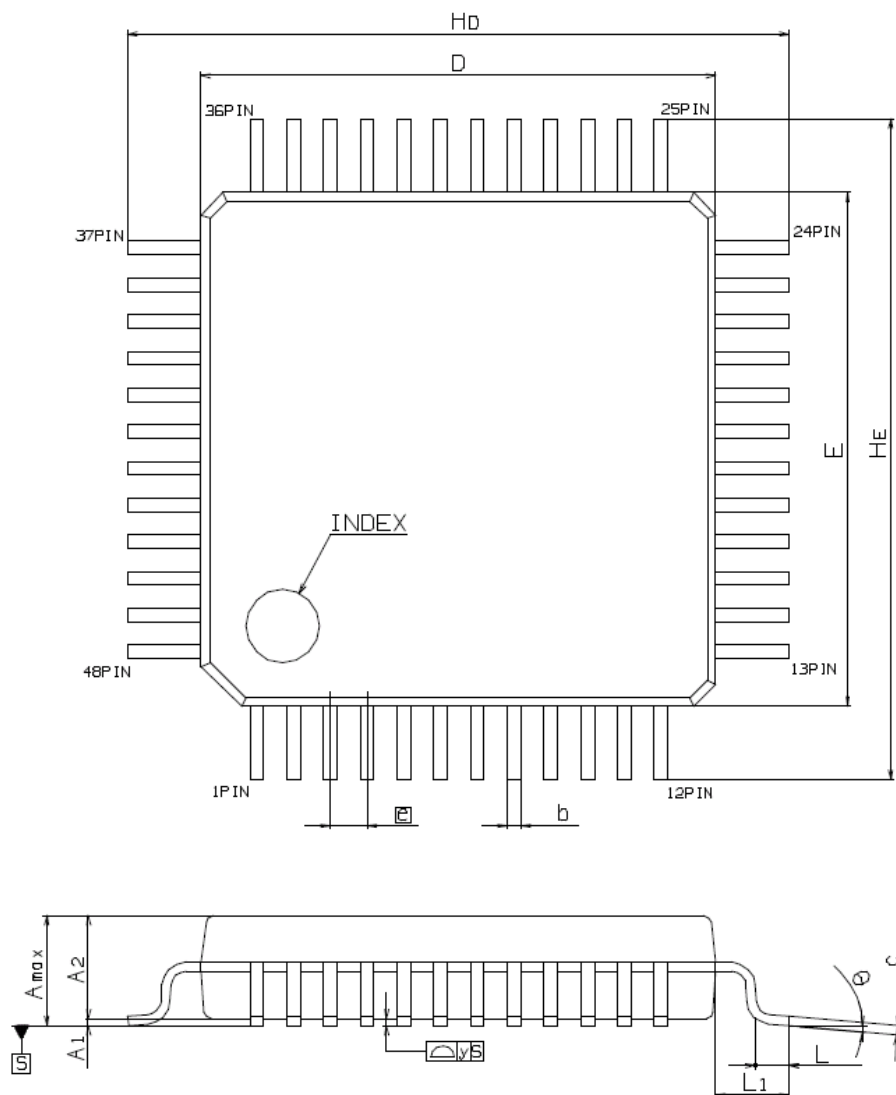
9. 接続例

『S1R72U01 評価ボードマニュアル』を参照してください。

10. 外形寸法図

10. 外形寸法図

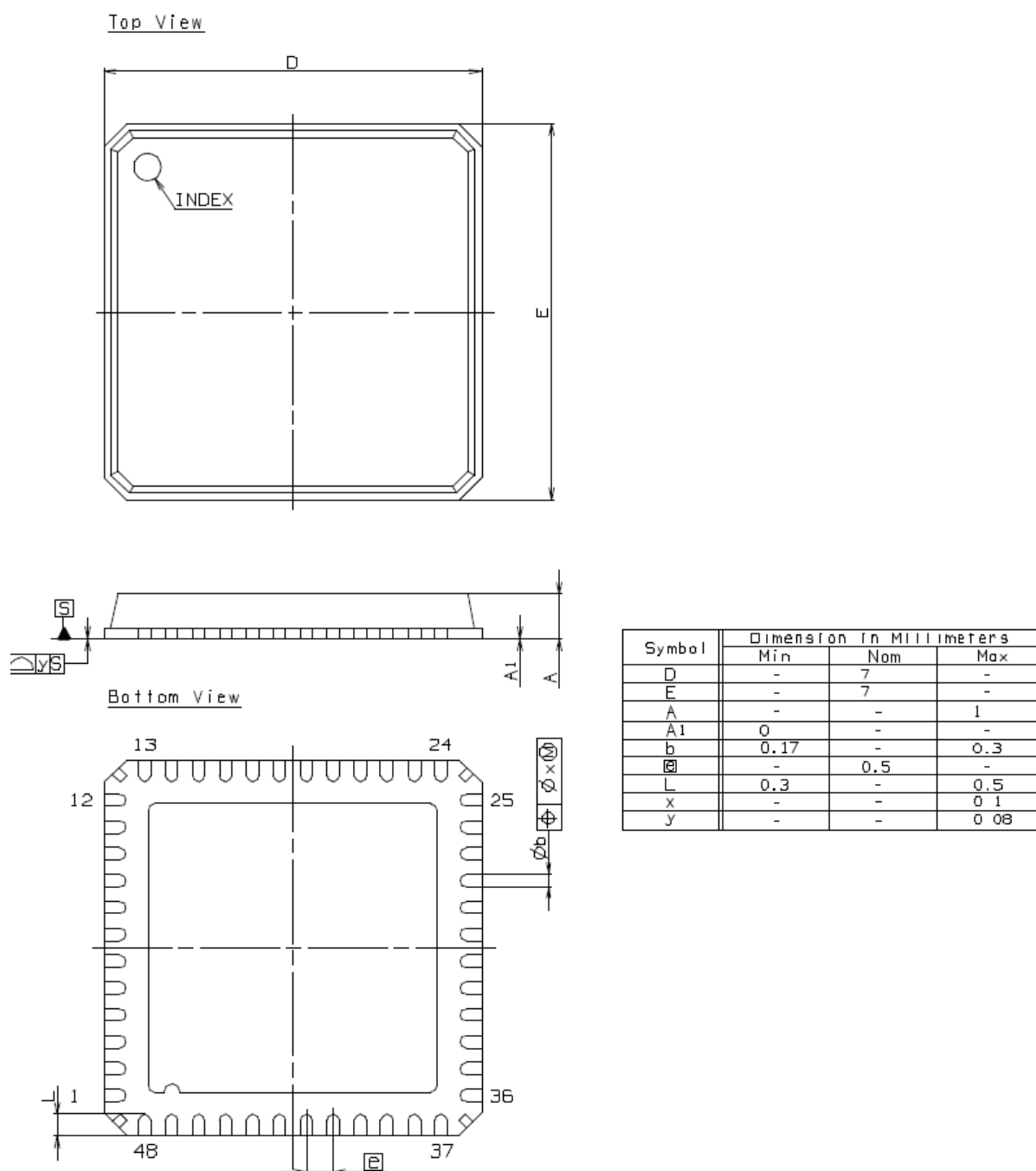
10.1 QFP12-48



Symbol	Dimension in Millimeters		
	Min	Nom	Max
E	-	7	-
D	-	7	-
A _{max}	-	-	1.7
A ₁	-	0.1	-
A ₂	-	1.4	-
⌀	-	0.5	-
b	0.13	-	0.27
c	0.09	-	0.2
⌀	0°	-	10°
L	0.3	-	0.7
L ₁	-	1	-
H _c	-	9	-
H _b	-	9	-
y	-	-	0.08

1 = 1mm

10.2 QFN7-48



1 = 1mm

11. 製品型番

11. 製品型番

製品型番	説明
S1R72U01F12E300	QFP12-48 パッケージ品
S1R72U01F07E300	QFN7-48 パッケージ品

改訂履歴表

付-1

Rev. No.	日付	ページ	種別	改訂内容（旧内容を含む） および改訂理由
Rev.1.00	2009/02/25	全ページ	新規	新規制定
Rev.1.10	2009/06/06	P10	訂正	機能未使用時の処理方法訂正 改訂前：Open 改訂後：電源を与える
		P13	追記	電源供給電流（静止電流）の条件記載 改訂後：※4 条件記載
		P14	改訂	VTU+ Min 特性削除
			改訂	VTU- Min 特性改訂、Max 特性削除 改訂前：0.9[V] (min) 改訂後：0.8[V] (min)
			削除	ΔV 項目削除
			改訂	RPLU Min 特性改訂、条件訂正 改訂前：64[kΩ] (min) 改訂後：52[kΩ] (min)
			改訂	RPLD Min 特性改訂、条件訂正 改訂前：40/64/240[kΩ] (min) 改訂後：32/52/200[kΩ] (min)
			改訂	RPLDL Min 特性改訂、条件訂正 改訂前：48[kΩ] (min) 改訂後：40[kΩ] (min)
			改訂	RPLDB Min/Max 特性改訂 改訂前：105[kΩ] (min) 155[kΩ] (max) 改訂後：100[kΩ] (min) 165[kΩ] (max)
		P15	訂正	IOZ 条件訂正
		P18	改訂	RSWON Max 特性改訂 改訂前：3.0/4.5[Ω] (max) 改訂後：4.0[Ω] (max)
			改訂	ISWOFF Max 特性改訂 改訂前：10[nA] (max) 改訂後：100[nA] (max)
			改訂	ISWLMT Min/Max 特性改訂 改訂前：21/14[mA] (min) 30/20[mA] (max) 改訂後：21[mA] (min) 35[mA] (max)
		P19	追記	<Fail-Safe 対象端子> 追加 改訂後：XRESET, ATPGEN 追加
Rev.1.20	2009/09/07	P8	訂正	I/O 種および機能未使用時の処理方法訂正 改訂前：IN(PU) 未使用時 Open 改訂後：IN 未使用時 High
		P14	削除	RPLU 対象端子から SIN0 を削除

セイコーエプソン株式会社
半導体事業部 IC 営業部

<IC 国内営業グループ>

東京 〒191-8501 東京都日野市日野 421-8
TEL (042) 587-5313 (直通) FAX (042) 587-5116

大阪 〒541-0059 大阪市中央区博労町 3-5-1 エプソン大阪ビル 15F
TEL (06) 6120-6000 (代表) FAX (06) 6120-6100

ドキュメントコード : 411565304
2008 年 9 月 作成
2009 年 9 月 改訂◎